

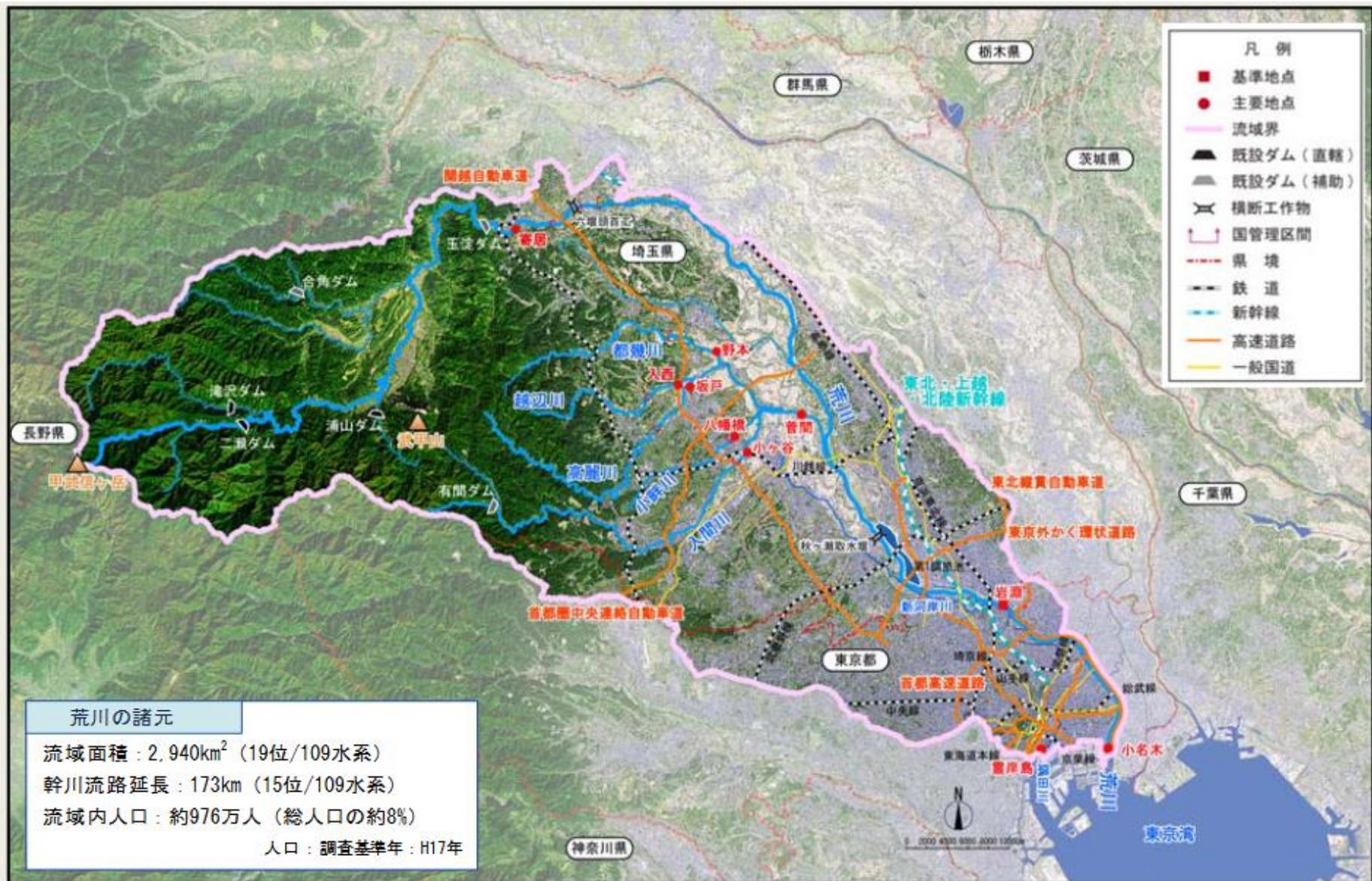


# 三ツ又沼ビオトープにおける 多様な主体と連携した保全管理の紹介

関東地方整備局

荒川上流河川事務所 河川環境課

# 荒川の概要



▲荒川流域概要図 2

(出典) 荒川水系河川整備計画

# 荒川の特徴



▲山間部（上流部）



▲広大な高水敷（中流部）



▲放水路区間（下流部）

川幅は日本一！

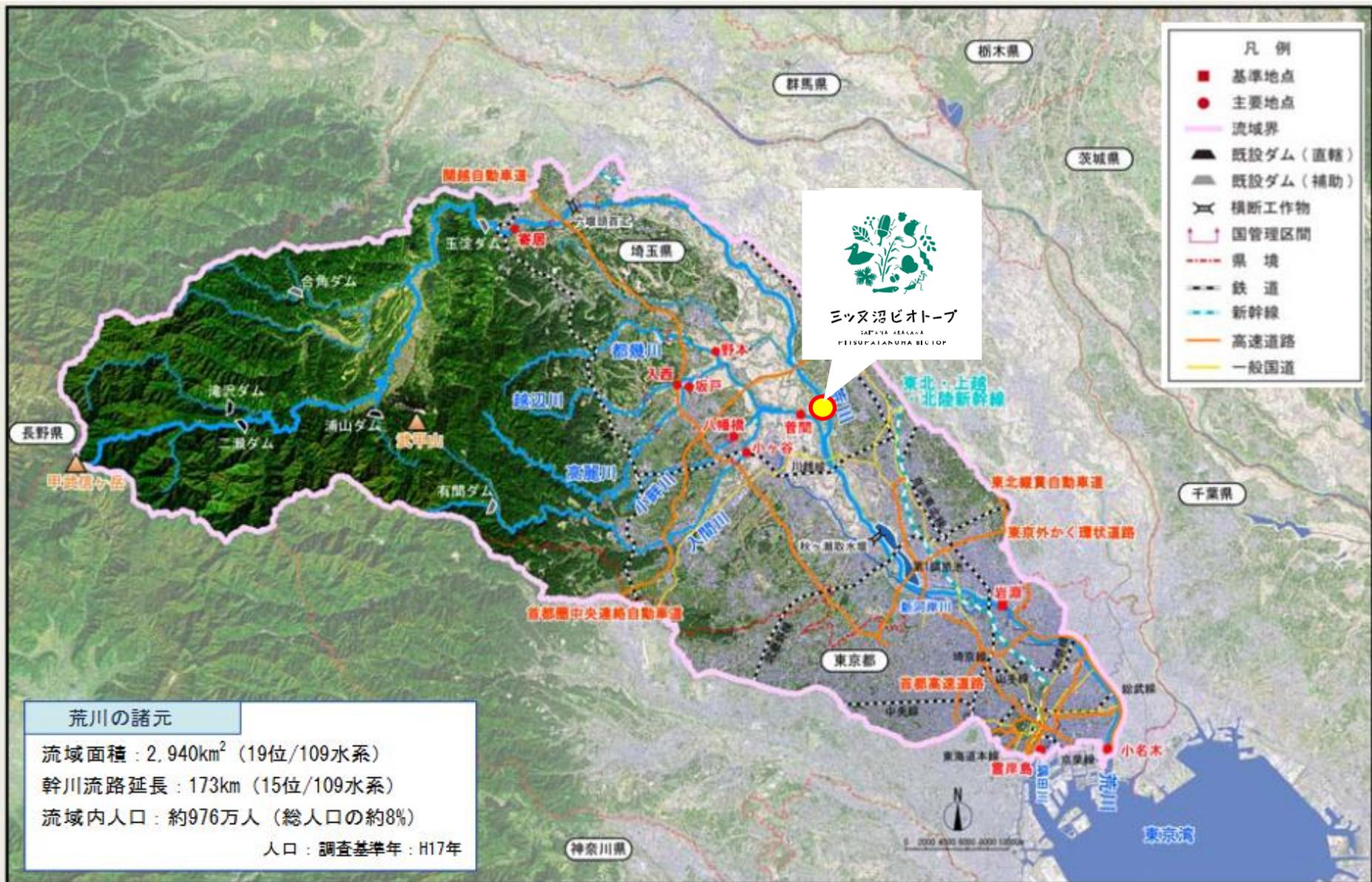


鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川  
川幅は2,537メートル



中流域の荒川

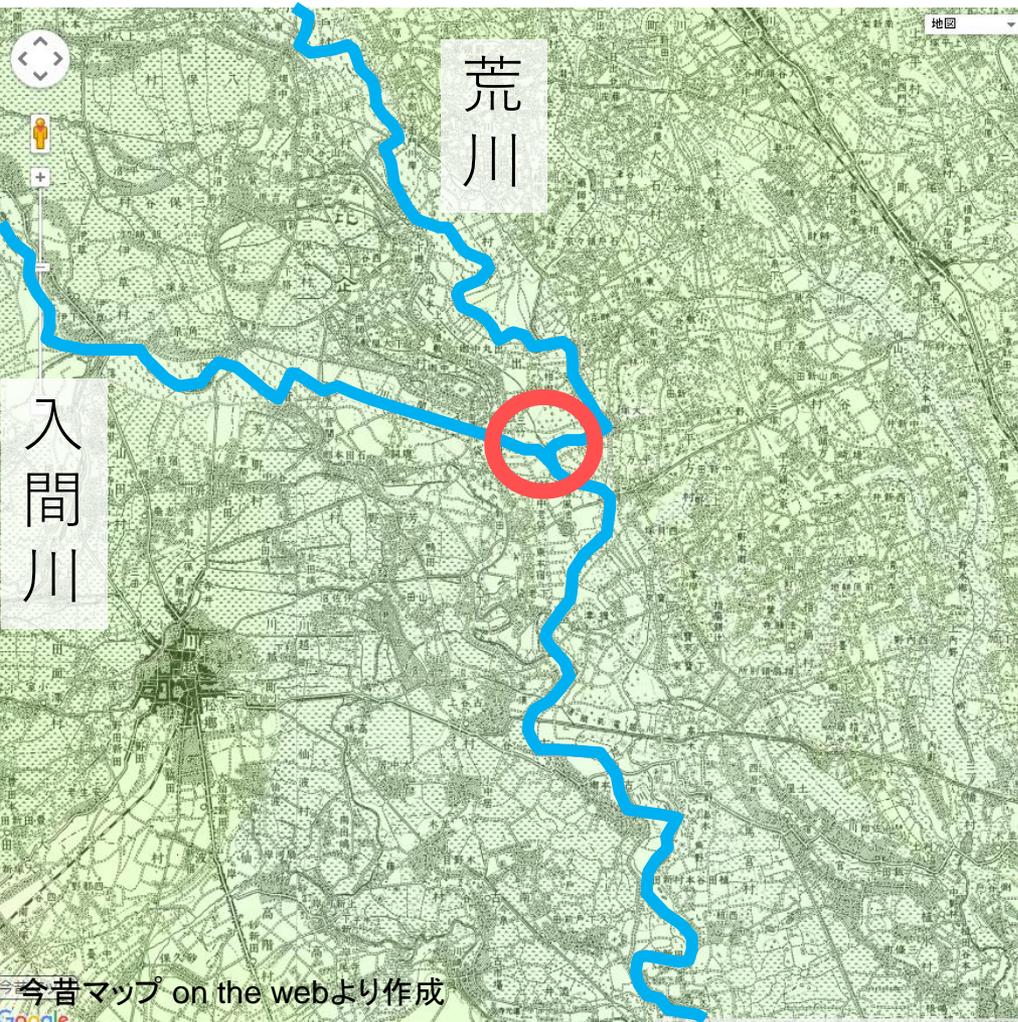
# ミツ又沼ビオトープの位置



(出典) 荒川水系河川整備計画をもとに作図



# 元々は荒川と入間川の合流点



70年前



今

# ミツ又沼ビオトープのオープンまでの経緯

## 当時の状況

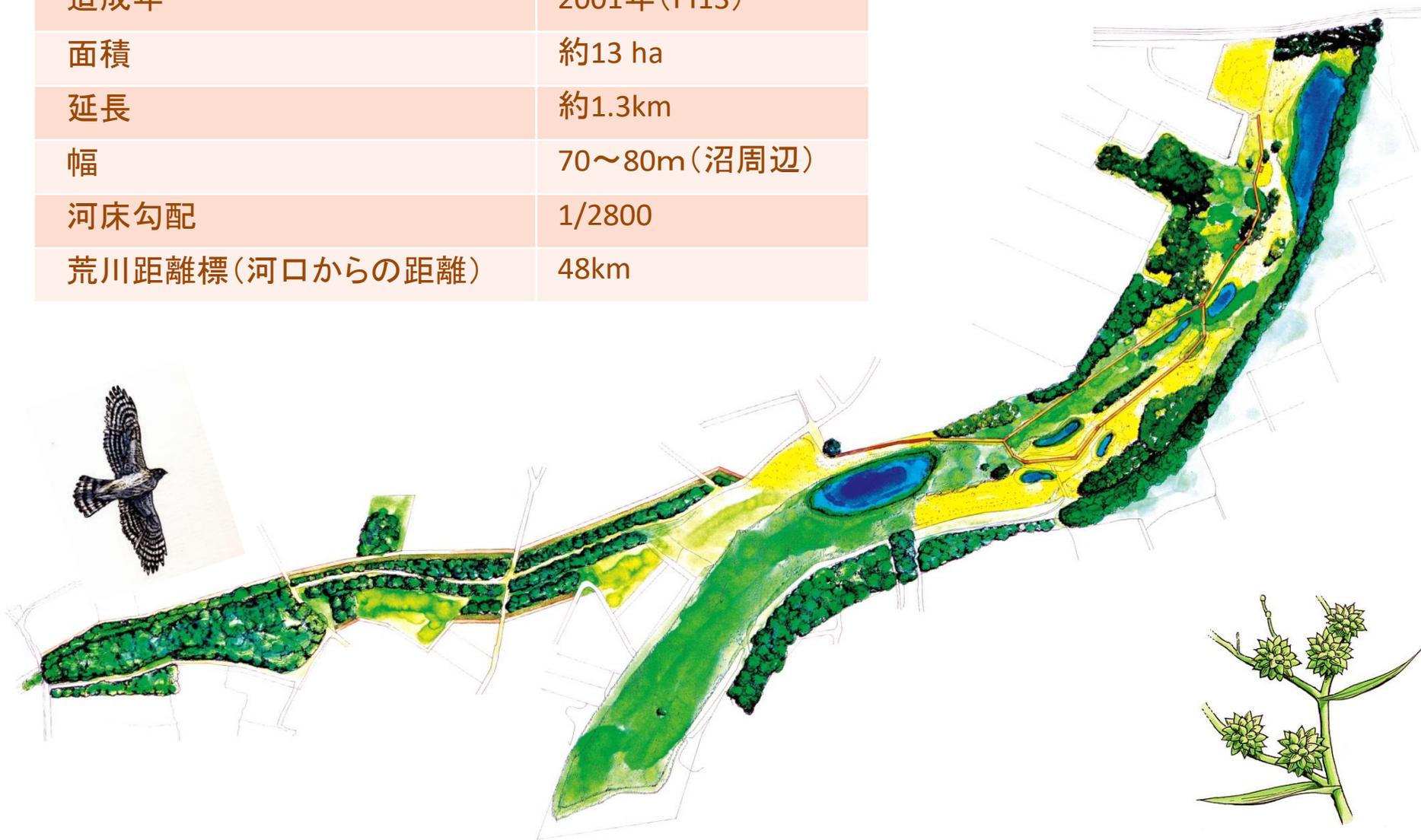


ゴミ・残土の投棄

82 5 8

# ミツ又沼ビオトープの概要

項目	
造成年	2001年(H13)
面積	約13 ha
延長	約1.3km
幅	70~80m(沼周辺)
河床勾配	1/2800
荒川距離標(河口からの距離)	48km





# 三ツ又沼 ビオトープ \*\*\*パートナーシップによる保全管理\*\*\*

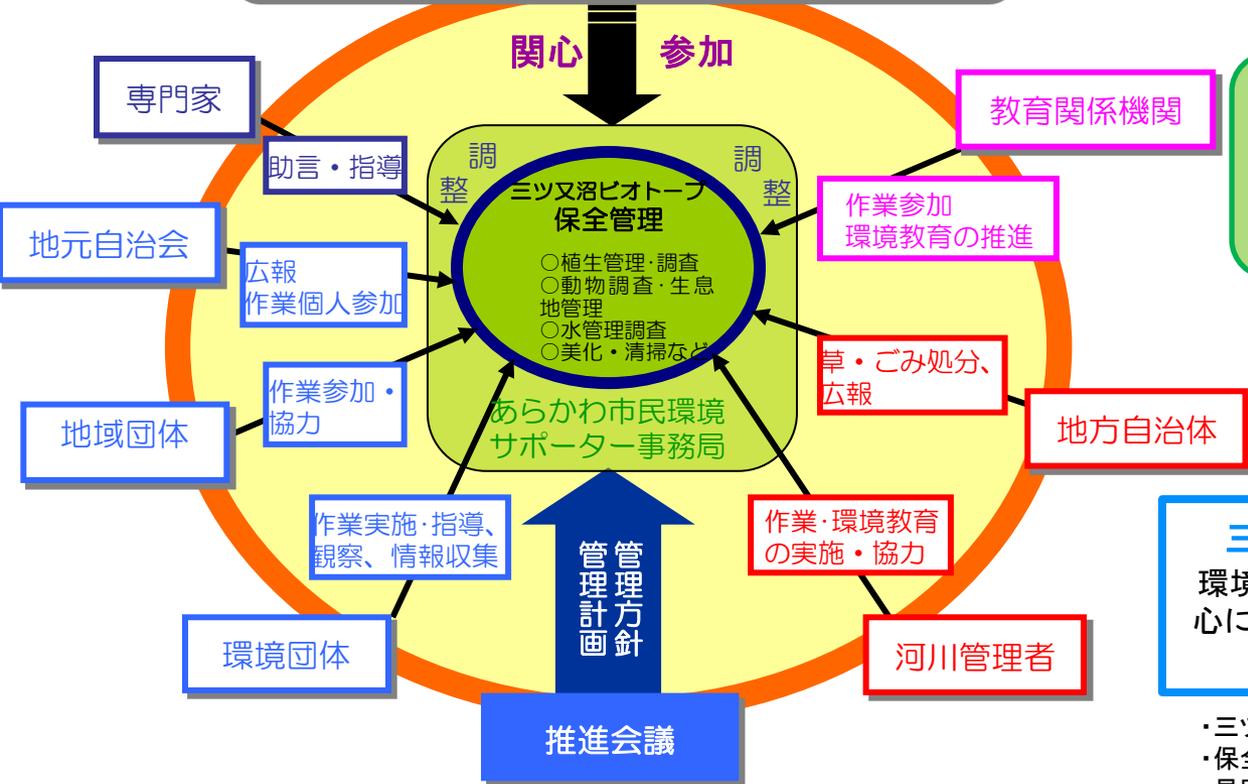
三ツ又沼ビオトープをよくするために必要な、保全管理作業の方法や時期、自然の状況などについて、いろんな人が関わり、一緒に

- 考える ○計画する ○取り組む ○調べる ○調整する
- 報告する ○見守る ○見直す

など、協力しています。

**三ツ又沼ビオトープパートナーシップ推進会議**  
関係する人達が、三ツ又沼ビオトープの保全・管理・利用の方針などについて話し合います。

**市民**  
あらかわ市民環境サポーター（三ツ又沼）



**あらかわ市民環境サポーター事務局**  
荒川上流河川事務所

- ・作業の調整、広報
- ・環境教育の推進
- ・会議の運営 など

**三ツ又沼ビオトープ保全調整ミーティング**  
環境団体・あらかわ市民環境サポーターの方々を中心に定期的に集まり、具体的な保全管理作業の進め方の確認・協力や情報交換をします。

- ・三ツ又沼ビオトープ保全管理計画(カルテ)の作成
- ・保全管理作業の調整、登録及び結果報告
- ・見回りや調査の結果の報告及びデータの蓄積
- ・自然観察会の企画の調整及び運営

～三ツ又沼保全調整ミーティングの様子～  
約3ヶ月に1回程度の開催



- ① 外来植物の除去
- ② 竹林の拡大の抑制
- ③ 希少植物の生育環境の保全を  
目的としたヨシ刈り・火入れ



# ①外来植物の除去

## アレチウリ / 特定外来生物

- ・北アメリカ原産
- ・一年草(ツル植物)
- ・トゲがある実ができる



トゲトゲの実

## オオブタクサ / 生態系被害防止外来種

- ・北アメリカ原産
- ・高さ3~4mに成長



## セイタカアワダチソウ / 生態系被害防止外来種

- ・北アメリカ原産
- ・花は春~秋(8~10月より前)



## ②竹林の管理



枯死したハチクの伐り出し



粉碎機排出竹チップ



竹林の整備

### ③ヨシ刈り・火入れの効果確認について

#### 火入れの目的

希少植物の保全のため、効果的かつ効率的にかく乱を起こす手法として火入れを実施。



ハナムグラ

環境省RL: 絶滅危惧Ⅱ類  
埼玉県RDB: 絶滅危惧ⅠB類



エキサイゼリ

環境省RL: 準絶滅危惧  
埼玉県RDB: 絶滅危惧ⅠA類

# ヨシ刈り・火入れの効果確認について

## R 3 年度に火入れを実施

様々な主体の協力により、2022年1月21日に火入れを実施。



火入れ範囲、約2,734 m<sup>2</sup>のうち、約2,697m<sup>2</sup>(約98.7%)  
が燃焼。

## ヨシ刈り・火入れの効果確認について

### R 3 年度の希少植物調査結果 (群落面積)

エキサイゼリ : 約388m<sup>2</sup>、  
ハナムグラ : 約12m<sup>2</sup>を記録。

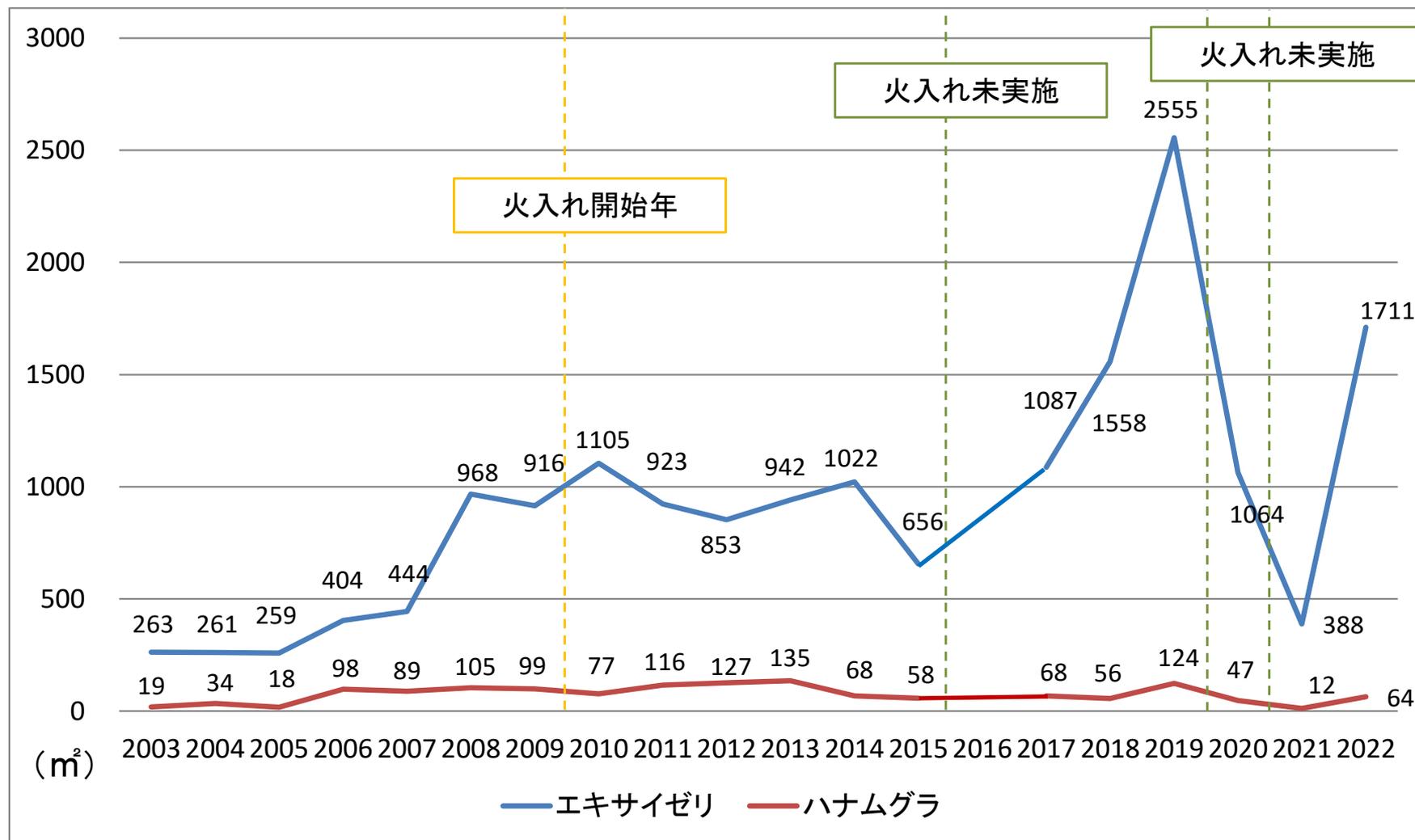
### R 4 年度の希少植物調査結果 (群落面積)

エキサイゼリ : 約1,711m<sup>2</sup>、  
ハナムグラ : 約64m<sup>2</sup>を記録。

# ヨシ刈り・火入れの効果確認について

## 希少植物調査結果

2カ年ぶりの火入れによって、希少植物の群落面積がV字回復した。



# 主な重点的な取組

様々な主体との連携

→ 保全管理の促進

→ 普及広報の促進

# 三ツ又沼ビオトープにおける保全管理の連携主体の推移 ← コロナ禍

分類	主体	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
環境団体	荒川の自然を守る会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	上尾の自然を守る教職員の会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	エンハンスネイチャー荒川・江川	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	埼玉県生態系保護協会上尾支部	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	川島ネイチャークラブ								●	●	●					
企業	(株)武蔵野銀行				●	●	●	●	●	●	●	●				●
	(株)丸電						●	●	●							
	ファインモータースクール									●	●	●	●			
	大和ハウス工業㈱埼玉支社												●			
	日本信号株式会社上尾工場														●	●
	凸版印刷(株)															○※3
団体	いきがい愛の会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	教員リネッサンス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	日本ビオトープ管理士会							●	●							
	埼玉県立総合教育センター江南支所									●			○※1		○※1	●
	ボーイスカウト上尾4団・9団									●	●	●	●		●	●
	クリーンエイド									●						
	上尾市環境推進協議会											●	●	●		
	川島子ども会									●		●	●			
	(一社)日本旅行業協会関東支社													●		
	上尾ライオンズ									●						
	しのもめキッズパーク保育園(職員)													●	●	●
	上尾水辺守														●	●
	学校	川島町立つばさ南小学校(旧・出丸小学校)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
上尾市立平方北小学校										●						
上尾市立富士見小学校													●		○※2	
上尾市立太平中学校		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
埼玉県立いずみ高等学校								●	●	●	●	●	●		●	●
浦和高等学園		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
川越女子高校(チームアライグマ)																●
埼玉動物海洋専門学校											●	●				
大正大学 環境コミュニティーコース								●		●	●	●	●			
学習院大学 教育学科									●	●	●		●		●	

※1: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため現地活動からオンライン講座に変更

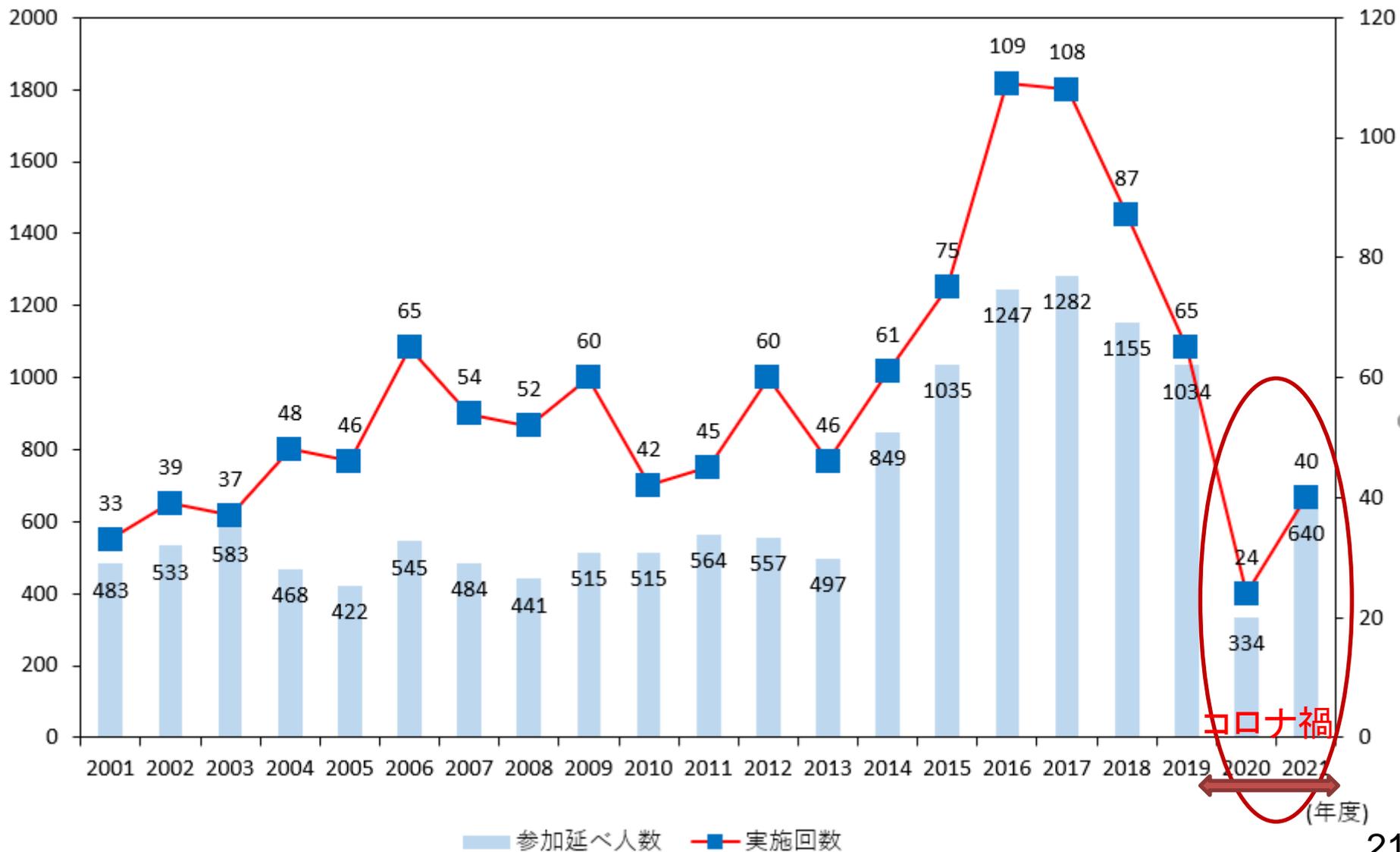
※2: 富士見小の「わくわく講座」として有志が参加

※3: コロナウイルス感染拡大のため現地活動中止

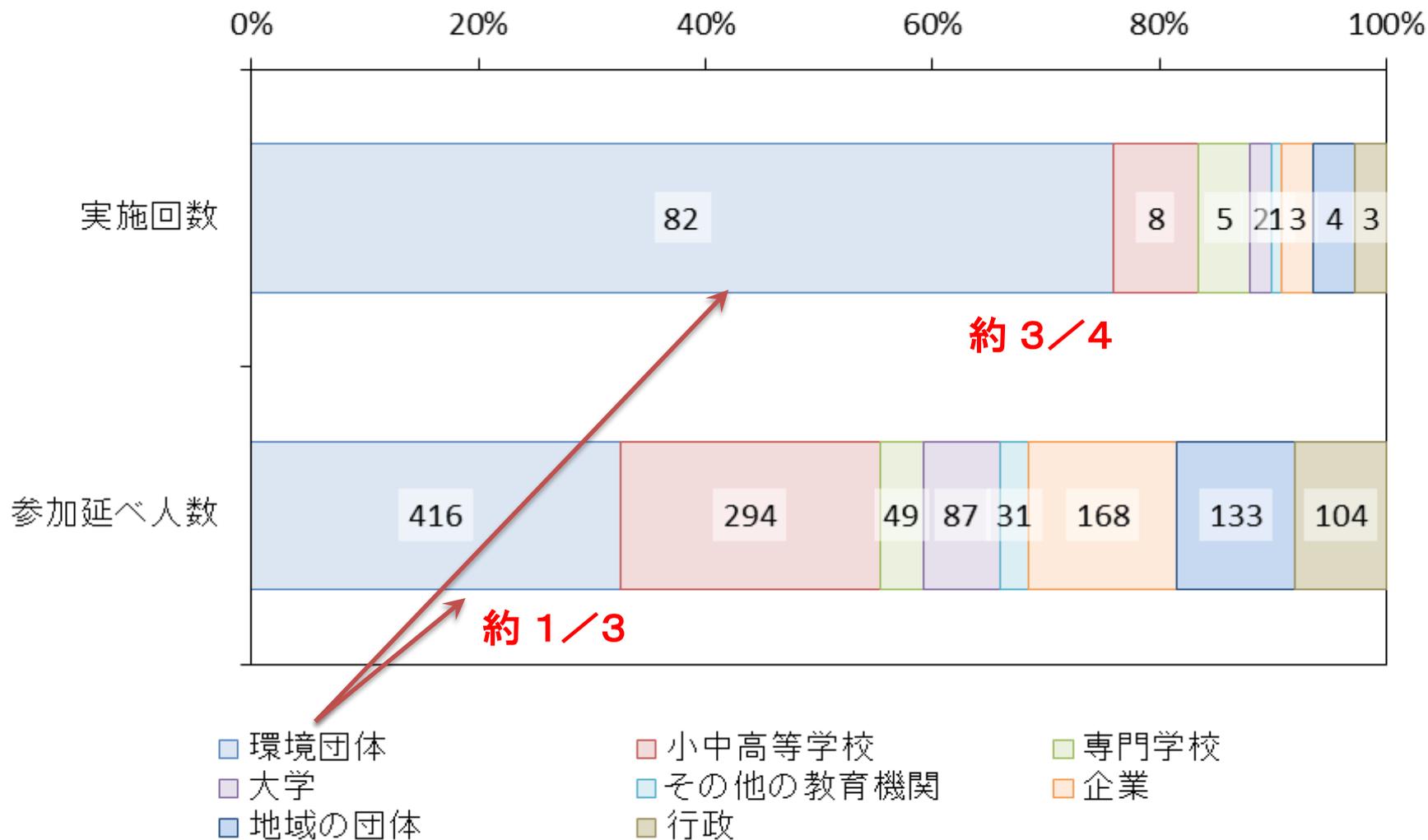
# 保全管理活動の推移と参加延べ人数

参加延べ人数(人)

実施回数(回)



# H29年度保全管理活動の実施回数と参加延べ人数の主な割合



# 1. 行政・事務局による対応

## 『植生管理除草』

日 時: 令和4年7月13日(水)～15日(金)

10:00～16:00

実施主体: あらかわ市民環境サポーター事務局

参加人数: 3名(事務局3名)

実施内容: 緑の回廊、緑の回廊沿いの農道脇、 駐車場の除草



ハンマーナイフモア使用時の様子



緑の回廊 北側 除草前



緑の回廊 北側 除草後

## 2.企業・団体による活動

### 『三ツ又沼の自然観察及び外来種除去と竹林整備』

日時:2022年 月 日(金)  
12時00分～15時00分

実施対象:

参加人数:約90名

実施内容:三ツ又沼ビオトープの自然観察

外来種駆除

竹林整備

自然保護に関するワークショップ



外来種駆除



竹林整備



活動後の集合写真

# 3.環境教育

## 『三ツ又沼の自然観察及び外来種除去と竹林整備』

日 時:2022年5月10日(火)

9時30分～15時00分

実施対象:浦和高等学園

参加人数:約90名

実施内容:三ツ又沼ビオトープの自然観察

外来種駆除

竹林整備



自然観察



外来種除去



竹林の整備

# 新・サポーター制度の認定・活動フロー

- ◇荒川が好きな個人、団体、企業等
- ◇荒川をもっと知りたい個人、団体、企業等
- ◇荒川環境を守り育てたい個人、団体、企業等

## ◆ステップ1

○WB上の個人サポーター登録フォームに氏名（団体名）、連絡先、参加希望のプロジェクトチーム等を記入し、登録申請をする。

希望者は、SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーターにも登録し、埼玉県の支援制度も活用する。

## ◆ステップ2

○ホームページやSNS等でプロジェクトチームが開催するイベント情報を入手し、環境調査、保全管理作業、講座等に参加する。

イベント参加時に腕章を支給

## ◆ステップ3

○プロジェクトチームのメンバーとして、現地活動や会議・打ち合わせ等に参加する。

定期的に講習会等を受講し、個々のレベルアップを図る

# プロジェクトチームの設立

## <目的>

- ・活動の目的・内容、役割分担、体制等の再認識
- ・サポーター加入の簡易化(加入しやすくする)
- ・サポーター制度の認定条件の撤廃
- ・団体サポーター、企業サポーターへの対応(増やす)

## <これまでの成果>

「荒川ハンノキプロジェクト」ならびに「荒川の草花を育てようプロジェクト」の実施により、学校等の継続的な参加につながった。

## <先行プロジェクトチームの進め方>

- ・多様な主体の**ニーズに即した活動**
- ・プロジェクトによっては**活動期限を設定(3年程度)**
- ・活動に賛同する**サポーター有志でスタート**
- ・サポーターへの負担増を避けるため**既存の取組とのコラボレーション**  
⇒段階的に新規プロジェクト参加者による主体的な活動へ

- ・(既存)荒川の草花を育てようプロジェクトチーム
- ・(既存)荒川ハンノキプロジェクトチーム
- ・(新規)荒川の生きもの博士を育てるプロジェクトチーム→R4年6月始動
- ・(新規)荒川の氾濫原環境再生プロジェクトチーム→R4年11月始動予定

# 荒川の草花を育てようプロジェクトチーム

## <ミッション>

荒川の在来植物の栽培を通じて、生物多様性の保全や担い手の育成を図る。  
また、活動を通じて、多様な世代間の交流を図る。

## <主な活動内容>

現地：在来植物の生育調査、播種、植え戻し、植生管理、種取

現地以外：プランター等での在来植物の栽培



## <主な対象>

個人、団体（教育機関、企業、福祉施設、環境団体ほか）

<事務局>あらかわ市民環境サポーター事務局

## <メンバー>

荒川の自然を守る会、上尾の自然を守る教職員の会、エンハンスネイチャー上尾、  
埼玉県生態系保護協会上尾支部、川島町立つばさ南小、上尾市立平方北小、富士見小、  
大石北小、太平中、埼玉県立いずみ高校、  
しののめキッズパーク保育園、白ばら学園第2こどもの家、社会福祉法人ウイング、※太郎  
右衛門地区：川島町立つばさ北小

# 荒川の草花を育てようプロジェクト

## 『プロジェクト参加校への種まきレクチャー』

日 時:

令和4年5月2日(火)大石北小学校

令和4年5月11日(水)上平小学校

令和4年5月11日(水)平方北、富士見小学校

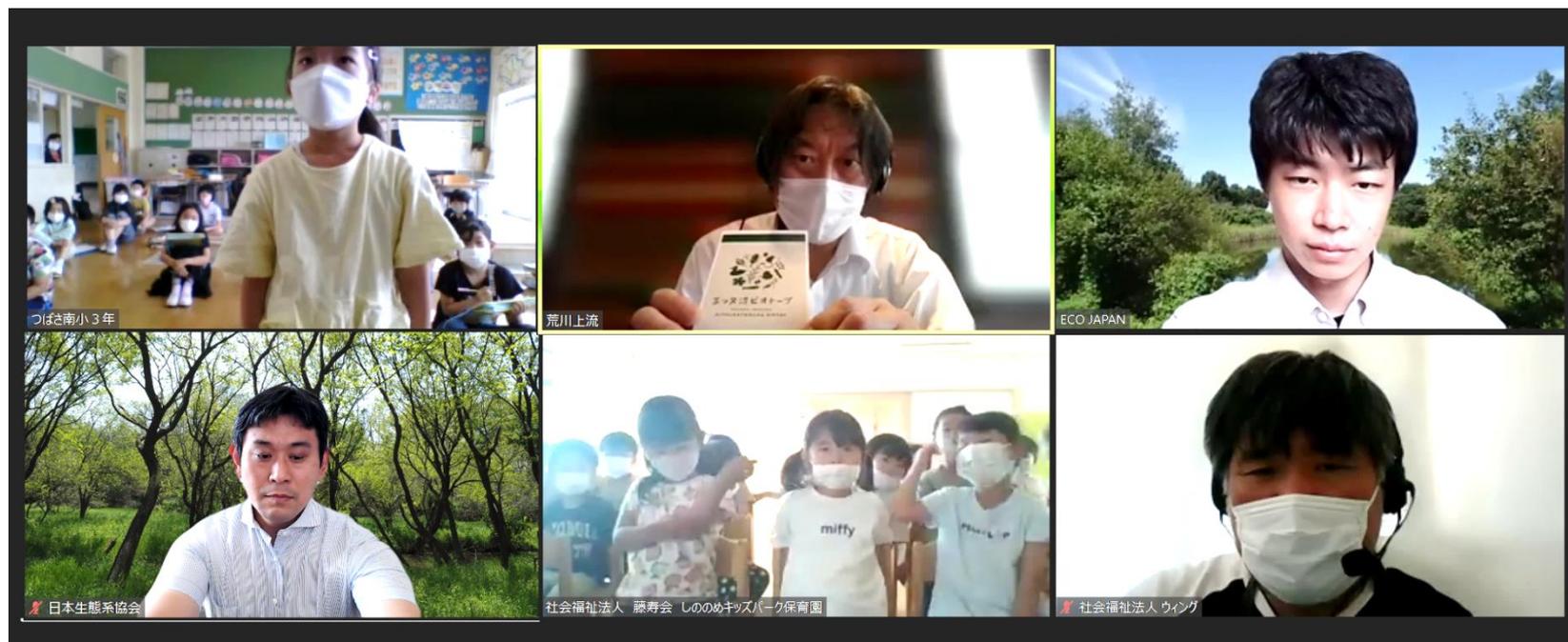
令和4年5月12日(木)つばさ南、しののめキッズパーク保育園、福祉法人ウイング

令和4年5月13日(金)太平中学校科学部

実施対象:ハンノキ・草花を育てようプロジェクト参加団体

参加人数:各校、園20~30名

実施内容:草花を育てようプロジェクトにおける種まきレクチャーをオンラインにて実施



種まきレクチャー時の様子

# 荒川の生きもの博士を育てるプロジェクトチーム

## <ミッション>

将来の担い手となる子どもたちに、荒川の自然環境と触れ合うための自然体験の機会を創出する。

## <主な活動内容>

水辺や草地の生きもの調査を通じた自然体験活動

参加者ニーズ **子育ての一環**



## <主な対象>

個人(小学生とその家族)

※指導・運営として個人(専門家)、団体(企業、環境団体ほか)

<事務局>サポーター有志





## 企業との連携促進

# 武州人間川プロジェクト

2022年度「武州・人間川プロジェクト」活動助成団体一覧

実施主体:

- ・武州ガス(株)
- ・(公財)埼玉県生態系保護協会
- ・荒川上流河川事務所

内容:

- ・人間川流域で環境保全活動を行っている市民団体や学校等を支援するために活動を助成。

三ツ又沼ビオトープでは、このプロジェクトを積極的に紹介し、市民団体や学校、県教育委員会の保全管理の道具購入費や現地までの交通手段の確保(バスのチャーター費)などを支援。

番号	団体名	活動タイトル	団体種別	代表者	設立年	申請活動種別	活動期間	活動場所	主な助成希望内容
1	高麗川ふるさとの会	清流高麗川プロジェクト	市民団体	三浦 輝夫	2003年	環境保全活動	2022年4月～2023年3月	坂戸市(高麗川/浅羽ビオトープ)	清掃活動、環境整備 野鳥調査、植生観察会 水質調査 「こまがわニュース」発行
2	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	人間川一斉水質調査 及びマップ作成	特定非営利活動 法人	鈴木 勝行	1995年	自然環境調査	2022年4月 ～2023年3 月	川越市・入間市・狭山 市・鶴ヶ島市・坂戸市・日 高市・嵐山町・鳩山町・と きがわ町他(人間川水 系)	水質検査キットの確保 流域の水質調査 一斉水質調査マップの印刷、配布
3	埼玉県立総合教育セ ンター 江南支所	「農業・環境・自然」高 校生徒体験活動	その他	川目 晴久	1965年	環境保全活動	2022年8月 ～11月	川越市、川島町(人間 川、荒川/三ツ又沼ビ オトープ)	高校生対象の保全ボランティア実 習 外來種の駆除 活動展示パネル製作
4	狭山市立人間川小学 校	ぼくたち、人間川探検 隊!	小学校	新井 忠洋	1874年	環境・体験学習	2022年4月 ～2023年2 月	狭山市(人間川)	水生生物調査、水質検査等の環境 学習 カヌー体験、地引網体験 学習発表会 講師の招へい
5	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	三ツ又沼ビオトープの 自然環境管理作業	特定非営利活動 法人	木ノ内 勝平	1991年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年3 月	上尾市、川島町、川越市 境界付近(人間川、荒川 /三ツ又ビオトープ)	外來植物の駆除、在来野草の育苗 と移植活動 自然観察会 広報活動のための資料作成 枯れたハチク搬出作業の機器リース 保険
6	上尾の自然を守る教 職員会の会	三ツ又沼ビオトープの 自然環境を楽しむ会	市民団体	赤羽 栄子	1998年	環境・体験学習	2022年4月 ～2023年3 月	上尾市、川島町、川越市 境界付近(人間川、荒川 /三ツ又ビオトープ)	自然観察 焼き芋 シンクワ 七草粥
7	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	鳩山における自然環 境調査保全活動	特定非営利活動 法人	愛場 謙嗣	2007年	自然環境調査	2022年4月 ～2023年3 月	鳩山町(唐沢川)	水質調査(農業成分残留調査) 情報公開費用 展示パネル作成
8	SUN JOY南小群川	アレチウリ駆除と海プ ラごみ回収活動	市民団体	安原 昭司	2013年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年2 月	川越市笠幡(南小群川 /田中橋～神明橋)	アレチウリ駆除と雑木処理 アゴごみ回収 家の幼虫飼育、放棄 活動記録作成
9	埼玉県立いずみ高等 学校	三ツ又沼ビオトープの 環境保全活動	高等学校	小川 剛	1962年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年2 月	川島町(人間川、荒川/ 三ツ又沼ビオトープ)	管理作業研修、貸し切りバス利用 発芽・生育試験
10	城西大学	ホトケドジョウの生息 地を環境DNAで探る	大学	藤野 陽三	1965年	自然環境調査	2022年5月 ～2023年2 月	坂戸市(高麗川・葛川・ 越辺川・唐沢川・小群 川)	環境DNA解析 学会報告
11	川島町立つばさ南小 学校	大好き川島!～守ら う 川島の緑と水～	小学校	新井 馨	2018年	環境保全活動	2022年4月 ～2023年3 月	川島町(人間川、荒川/ 三ツ又沼ビオトープ)	三ツ又沼ビオトープでのフィールド ワーク (自然観察、外來種駆除、植え戻し た「ハンキ観察等」 調べ学習・新聞作り 発表会)

# 今後の課題

1. 市民参画の持続性の確保  
(特に指導的立場のサポーターの獲得)
2. 保全管理の省力化
3. コスト